

鵜の木地区地域情報紙 第116号

さんぽみち



発行：地域力推進鵜の木地区委員会
編集：鵜の木地区 地域情報紙編集委員会
事務局：鵜の木特別出張所
電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鵜の木特別出張所管内の人口
(令和7年4月1日現在)

男 12,688人

女 14,168人

計 26,856人

世帯数 15,373世帯

※SDGsアイコンの下に鵜の木の地区の主な取り組みを記載しています。



「元気塾」や「高齢者ふれあいフェスタ」など



「大森七中生との地域課題解決に向けた総合学習」など



「鵜の木地区公式LINE」や「地域情報紙さんぽみち」など



SDGs
未来都市
大田区

鵜の木地区町会連合会会長
鵜の木二丁目町会会長
堀江 敏雄

鵜の木地区では2030年SDGs※達成をめざし、オールオオたのワンチームとしてスライパートナーの認定を受けました。一人ひとりの行動変容を促し、地域防災力の強化、デジタル化、広報の強化等も進め、地区7町会の安全・安心な居住環境を持続的に形成し、地域コミュニティを次世代へ継承していくことを目指します。

SDGsに関連する活動等を継続し、「鵜の木地区町会連合会公式LINE」を活用し、高齢者だけでなく、次世代を担う子どもから大人を対象に、健康づくりをきっかけに鵜の木地区に関心や愛着を持ち、住み続けたいと思えるような絆を深める取り組みを継続して参ります。次世代を担う若い住民へ向けて積極的にPRして参りますので、引き続きご協力を宜しくお願いします。

新年度の展望

青少年対策

鵜の木地区委員会会長
近藤 好秀

「こどもの活躍する機会をより多く提供する鵜の木青少年対」をスローガンで活動している鵜の木地区です。

地域の方々のご理解とご協力のもと、昭和30年代から続いている活動だそうです。昨今では最初の頃とは子ども達を取り巻く環境は変化しています。

しかし、子ども達の秘める可能性の大きさは変わりません。その可能性を引き出す機会の一つに青少年対の活動があるのではないかと考えています。

親子で参加するイベントも多くあります。難しく考えず興味がわいた時に、近くの町会の役員さんに一声掛けて頂ければ、地区委員がご説明いたします。

子供の未来の笑顔の為に、少しでも役立てる事がこの活動の目的ですので、今後共、ご理解ご協力、そしてご支援頂きます様、よろしくお願いします。

※Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)。環境問題・貧困等の課題に関して、2030年までに達成すべき17の国際目標が掲げられている。

鵜の木地区
町会連合会
公式LINE

ぜひお友だち登録
してください！
今後の行事予定も
「イベント情報」から
確認できます。



令和7年度行事予定

開催時期が変更になることがあります。
詳細は各町会掲示板等でご確認ください。



鵜の木地区連合運動会

4月27日(日)	第74回 大田区子どもガーデンパーティー (せせらぎ会場)
6月	献血
6月19日(木)	鵜の木地区一斉清掃
7月	全国鵜の木まつり
7～9月	夏休みこども会・盆踊り・夏祭り
10月19日(日)	鵜の木地区連合運動会
秋ごろ	こどもデイキャンプ/防災訓練
2月	鵜の木地区バスケットボール大会
3月	高齢者ふれあいフェスタ

SDGsゴール

3

すべての人に健康と福祉を

ウェルビーイングなまち 鵜の木

※ウェルビーイングとは、肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう（日本WHO協会仮訳）



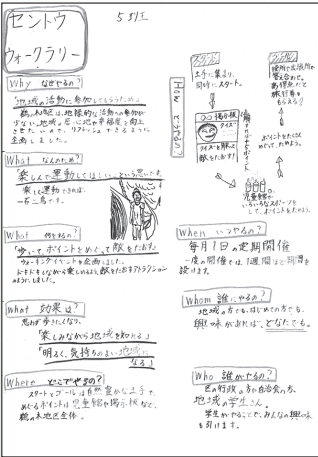
SDGsおたスカイパートナーにも認定されている鵜の木地区町会連合会は、健康づくりをきっかけに地域の絆を深める取り組みを進めています。昨年、10月から11月にかけて、大森第七中学校の旧1年生約200名を対象に、鵜の木地区の健康課題に関する総合学習授業を行い、最終日には6クラスの代表グループが体育館で保護者や地域の方向けに提案内容を発表しました。提案内容はどれも地域を元気にするアイデアです。今後、七中生と共に地域の中で一緒に実践していきましょう。

セントウ ウォークラリー

旧 1年1組 5班

生徒からのメッセージ

鵜の木地区は区内のなかで地縁的な活動への参加が少ないという課題があります。健康のために歩く人を増やし、地域交流の機会を増やすため、私たちは、児童館、銭湯などを巡り、クイズやスポーツをして、敵を倒す(戦闘)ことでポイントを貯めるというアトラクション企画を考えました。

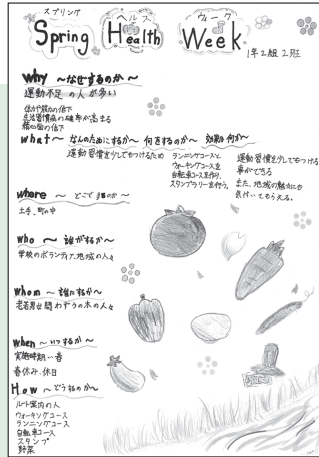


Spring Health Week

旧 1年2組 2班

生徒からのメッセージ

鵜の木地区は区内のなかで運動不足の方が多いという課題があります。運動習慣を少しでもつけるため、鵜の木地区の多摩川土手やまちの中でウォーキングやランニング、自転車コースを作り、スタンプラリーを行う企画を考えました。

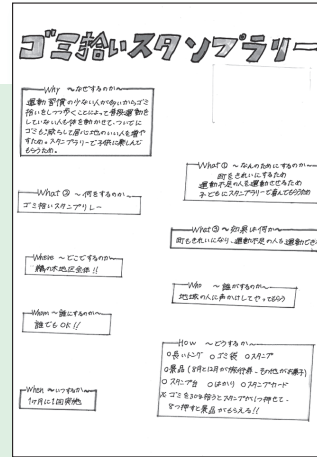


ゴミ拾いスタンプラリー

旧 1年3組 2班

生徒からのメッセージ

鵜の木地区は区内のなかで運動習慣の少ない方が多いことから、ゴミ拾いをしつつ歩くことによって普段運動していない方も体を動かさせて、ついでにゴミも減らして地域が居心地よいと感じる人を増やそうという企画を考えました。



七中旧1年生から地域の皆さまへのメッセージ

- 「改めて健康に過ごすことの大切さを知って、何歳になっても元気に過ごしてほしい」
- 「鵜の木地区の方が健康を意識して、日々の生活に運動を取り入れてほしい」
- 「多くの方に健康について考えていただき、笑顔あふれる地域に！そして、地域の皆さんには長生きしていただきたいです」
- 「みんなが住みやすいまちに変えていこう！」



地域の方々からのメッセージ

- 子どもたちが、地域のために想像力を発揮して考えられることが、これからの未来へつながる貴重な学習だと思いました。内容も具体的に素晴らしい。
- 健康づくりを中心に地域を元気にするアイデアを提案いただきありがとうございます。これを実践に移していただきたい。

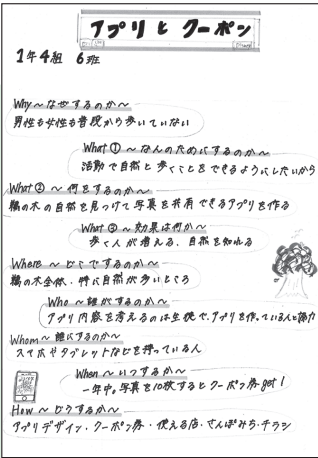
大森第七中学校旧1年生から全36の提案をいただきました

アプリとクーポン

旧 1年4組 6班

生徒からのメッセージ

鵜の木地区は区内のなかで男性も女性も普段から歩いてない方が多いという課題があります。鵜の木は水とみどり豊富なまちであるという特徴を活かして、まちを歩きながら草花など自然を見つけたらアプリに写真を共有することで、自然と歩くことができるようになるというデジタル企画を考えました。

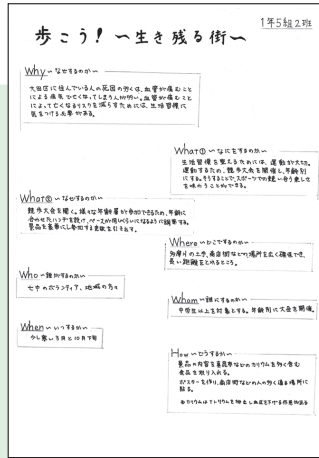


歩こう！～生き残る街～

旧 1年5組 2班

生徒からのメッセージ

大田区では、血管が痛むことによる病気で亡くなる方が多いという話を聞きました。生活習慣を整え病気のリスクを少しでも減らすため、「競歩大会」を開催します。多摩川土手や商店街など巡ったり、年齢別の大会とするなど、幅広い世代の方が楽しく競い合えるような企画を考えました。

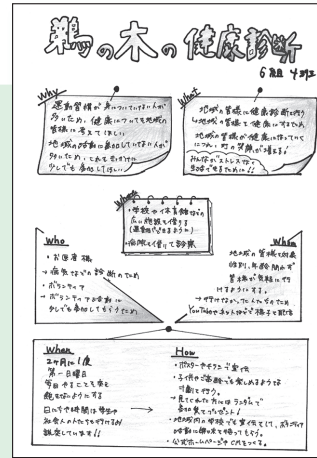


鵜の木の健康診断

旧 1年6組 4班

生徒からのメッセージ

健康や生活習慣について地域の皆さんに考えてほしい。また、地域活動に少しでも参加してほしいという想いで、「地域の皆さんのための健康診断」を行います。健康診断会場では、健康に関する寸劇などを実施するなど、子どもから大人まで楽しめる企画を考えました。



大森第七中學生との地域課題解決に向けた総合学習を実施しました

- 対象** 大森第七中学校旧1年生200名程度
- 期間** 令和6年10月17日～11月28日(全7回)
- 内容**
 - 1日目……「地域の健康課題を発見しよう」
 - ・データを見る・数値の見方や意味を考える
 - 2日目……「地域の健康づくり(解決策)を考えよう」
 - 3日目……「鵜の木地区の特徴、魅力」
 - 4・5日目…「グループワーク」
 - 6日目……「クラス発表会」
 - 7日目……「全体発表会」in体育館(1年生、保護者、町会連合会関係者等)



「第19回高齢者ふれあいフェスタ」が開催されました！

令和7年3月7日(金) 大田区民プラザにて

大田区民プラザでの開催は6年ぶり、心待ちにしていた本イベントはたくさんの方にご来場いただきました。

第1部ステージでは、落語家の金原亭小馬生様、鶺鴒の木いみずみ保育園児のかわいらしい手話ソング、笑いの中で幸せな時間を過ごせました。第2部お楽しみブースでは、協力各社、団体、もみじ・鶺鴒の木・千鳥のふれあい元気塾等、限りある時間で楽しんでもいただきました。開催にかかわった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

地域の方々の笑顔があふれるフェスタの開催が今後も続きますよう、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。
(副実行委員長 永岡 光子)



大森第七中学校防災活動拠点訓練を実施しました！

令和7年2月8日(土)

真冬の凍えるような体育館での防災訓練では、地域の地形や歴史を学んだ後、土のうの積み方や簡易トイレの使い方を実践形式で学びました。

「訓練だから失敗しよう」という声掛けもあり、失敗を恐れず参加し、改善点を共有できました。避難者はお客様ではなく共に避難所を運営する地域の仲間という意識をもつことで各自の動きが変わる事を学びました。

日ごろの小さな備えや防災知識をつけることが命を救うことだと実感した訓練でした。
(大森第七中学校PTA会長 屋馬 みすず)



募 金

赤十字会員募集運動

1,240,128円

赤い羽根共同募金

1,159,824円

歳末たすけあい募金

1,744,566円

たくさんのご協力
ありがとうございました。

こどもや保護者の居場所づくりの現場を視察しました。

●日時：令和6年12月6日(金) 1時45分～2時45分

●場所：こあら村(千鳥町駅から徒歩4分) 住所：久が原6-26-4

令和3年の調査では大田区の小学校では60人に1人、中学校では17人に1人が不登校になっています。その原因は様々ですが、社会との繋がりが途切れないようにこの地域では社会福祉協議会の方々が「こあら村」を利用し子どもや保護者の居場所を提供してくれています。私たち地域の大人もこの活動を支え広げて、地域で子どもを育てる意識を持って行動をしていきたいと思っています。
(南久が原一丁目町会 天明 裕子)



表 彰

大田区政功労者表彰

自治会・町会(会長・副会長)

10年以上在職

渡邊 武 (鶺鴒の木西町会副会長)

大田区青少年委員

澄野 華代子(千鳥南町会青少年委員)

防災市民組織等感謝状贈呈

市民消防隊員20年

美谷島 善昭(鶺鴒の木西町会)

市民消防隊員10年

石井 善則(鶺鴒の木西町会)

本田 瑞枝(鶺鴒の木西町会)

安藤 秀夫(鶺鴒の木二丁目町会)

蓮見 葉子(鶺鴒の木二丁目町会)

馬瀬 悦子(鶺鴒の木二丁目町会)

河上 はつ子(鶺鴒の木二丁目町会)

加藤 多津美(鶺鴒の木二丁目町会)

山中 博 (千鳥南町会)

大田区青少年表彰

模範青少年部門

星 美由紀

守屋 遥永

(鶺鴒の木地区ジュニアリーダー)

伝統文化部門

鶺鴒の木三丁目町会子供太鼓

(敬称略)



編集委員紹介

今年度の「さんぽみち」の編集委員です。
よろしくお願いいたします。

岡 希久子

鳥谷 容子

貝増 ますみ

岩田 久美子

井上 純一

市村 之廣

鳥塚 麻澄

(事務局)

片寄 洋志所長

大黒 洋平副所長

奥 志織

岡本 信夫

村松 茂

山口 義晴

田中 克美

永岡 光子

中島 勝彦

前澤 里香

編集後記

昨年4月から鶺鴒の木特別出張所所長に就任しました大黒です。

今号では鶺鴒の木地区町会連合会長および鶺鴒の木青少年対面会が新年度へ寄せる力強い抱負に始まり、学生からお年寄りまで様々な活動に取り組んでいる様子を特集しました。私自身、老若男女がいきいきと活躍する鶺鴒の木で仕事をしながら、時には一緒に楽しみや喜びを分かち合う機会に恵まれていることに日々感謝しながら過ごしています。

社会情勢の移ろいと共に様々な物事が変化を迫られています。鶺鴒の木地区のあたたかく活力に満ちた雰囲気が変わらずに続くことを願うばかりです。地域情報紙「さんぽみち」が、大好きな鶺鴒の木のまわりの雰囲気を伝える一助となれば幸いです。

編集委員(事務局) 大黒 洋平